

富浦の現状

要介護認定者数は年々増加中

2000年の介護保険制度のスタート以来、日本全国で、要介護認定者数が増加しています。富浦でも要介護認定者数は、図1の通り、増加の一途をたどっています。

今後、高齢化が更に進行する中で、要介護認定者数が減少していくとは、予測し難い状況です。

富浦の課題と今後の対応を皆んなで一緒に考えてみませんか。

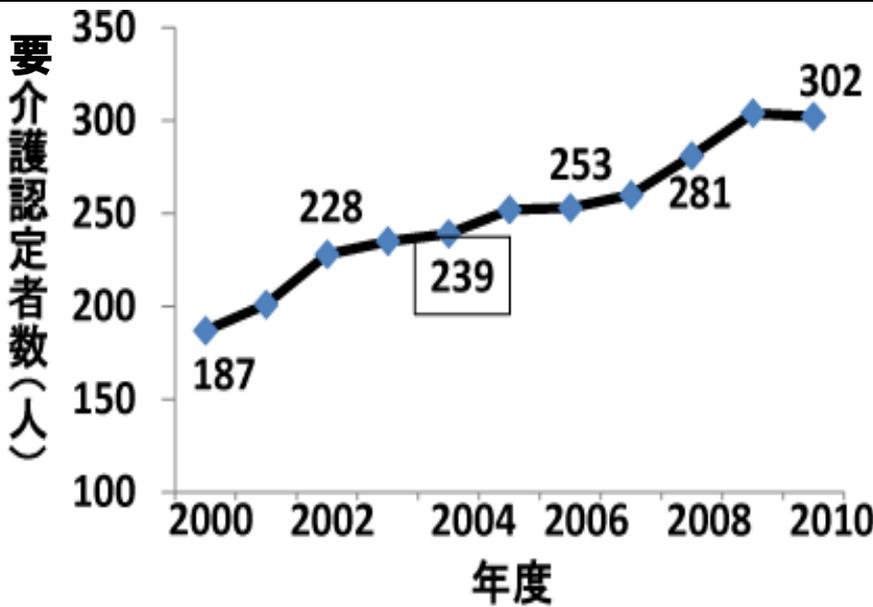


図1. 要介護認定者数の推移

富浦の桜の名所

1. 大房岬の運動公園地
2. 富浦駅周辺
3. ザーザンボ周辺
4. 枇杷倶楽部対岸



大房岬の運動公園地の桜



富浦中学校生徒とワシントン・ミドルスクールの生徒等12名が、3月5日、ウォーキングを一緒に楽しみました。生徒達は、白浜から千倉の潮風王国までの約4kmのウォーキングを通して、国際交流感覚を養っていました。

中学生がウォーキングを通して交流

行事予定

4月度、写真愛好会と小学校の写真クラブによる写真の展示が元気倶楽部のロビーで実施されます。動物、風景、人物等の写真が展示予定です。

富浦の昔ばなし

宮本一の力持ち



昔むかし、宮本村の権右衛門さんという、たいそう力持ちのお百姓さんがいました。その権右衛門さんが、ある日のこと牛で田を耕していましたと、どこからか一人の男が訪ねて来ました。「もしもし、この辺に有名な力持ちがいるそうですが知りませんか。私は上総(千葉県の中部)から来た者ですが、力くらべをしたいのです。」

権右衛門さんは、

「そんな力持ちは、いるかどうか聞いたこともねえが、わしと力くらべをしてみねえか、お寺に行つて墓石を持ち上げてやるべえ。しかし、ちよつと待つてくれねえか、牛が泥でよこれいるから、洗つてしまふのでな。」

と言いながら、牛をまるで犬か猫でも掴むように持ち上げると、水たまりへ運び、じゃぶじゃぶ洗いだしました。これを見た上総の男は、びつくり仰天して、

「これはたいへんだ、とてもかなわない、かなわない。」

と、すたすた帰ってしまいました。

著者 生稲謹爾氏